

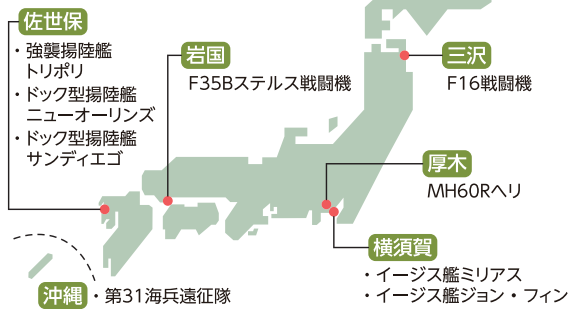
あなたは、どう思いますか？

「時は来た。来年は改憲発議にメドがあったといえる党大会に」(高市首相)
——日本をふたたび戦争する国にしてよいのでしょうか。

「戦争が不安」は大きき？

- 強襲揚陸艦トリポリは、沖縄、岩国の部隊をのせて出撃
- 日本政府は「移動しただけ。米政府と事前協議ない」

国際法違反のイラン攻撃 日本が米軍の出撃拠点に



憲法9条を変えていい？

- 9条にこめられた2つの決意、①ふたたび戦争国家にならない。②核戦争を絶対におこしてはならない
- 「平和憲法まもれ」と国会前3万人、全国165カ所5万人が行動



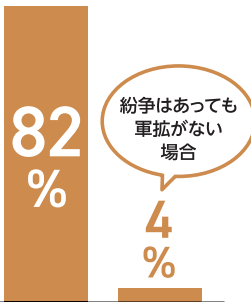
中国とどうつきあう？

- 「双方は、…互いに脅威とならない」(2008年日中首脳合意)を両国が守る。高市「台湾発言」は撤回を
- すでにある「日中韓サミット」を活用して徹底対話を

「抑止力」は必要では？

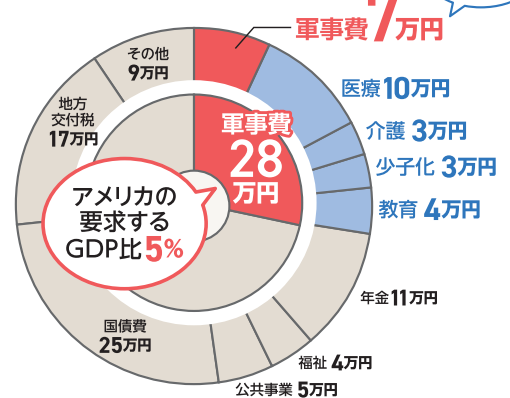
- 「増大した軍事費は…軍拡競争に拍車をかけ、武力紛争のリスクを高める」(国連事務総長)
- 「軍事支出の増加は紛争のリスクと、紛争時の破壊のレベルをかえって高める」(ストックホルム国際平和研究所所長「日経」3月15日付)
- 「軍備増強を継続している2国が、紛争で対立した場合、…最終的に互いに戦争状態に陥る可能性ははるかに高い」(オーストラリア国立大・平和研究センター)

軍拡競争が戦争になる確率



ブリティッシュコロンビア大学
マイケル・D・ウォレス教授の研究(1979年)

「国民一人当たり」の国の予算



志位和夫議長

Q&A 戦争への道をどう止め 平和をどうつくるか

志位講演 YouTube 動画を見て
4・11 民青同盟学習会
一緒に話し合いませんか？

動画は
こちらから



日本共産党

比例東海ブロックニュース【2026年5月号外】 日本共産党の見解を紹介します。

発行：日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄 3-12-25 TEL.052 (264) 0833 FAX.052 (264) 0850

東海ブロックの
公式ラインに
ご登録ください▶



「憲法守れ」東京大集会に5万人



連帯あいさつをする田村委員長



「憲法守れ」とアピールする2026 憲法大集会の参加者=3日、東京都江東区

「2026 憲法大集会」(東京) 日本共産党の田村智子委員長のあいさつ

高市首相は、集団的自衛権の行使を容認し、「専守防衛」を投げ捨てた、長射程ミサイルの配備。国是である武器輸出の禁止を投げ捨て、殺傷武器輸出を全面解禁しようとしています。

憲法9条は、国際紛争を「武力の行使」「武力による威嚇」で解決することを放棄しています。平和的手段での解決を求めています。憲法こそが、世界に平和をもたらす最も確かな力ではないでしょうか。

憲法9条を守り生かせ、改憲反対、軍拡反対—この圧倒的な世論を国民のみなさんの中に広げる先頭に立つ決意です。

国家情報会議設置 健康保険法改悪 防衛省設置法等一部改定案

衆院通過 反対は共産党だけ

「国家情報会議」設置法案

政府の「スパイ活動」を強化し、市民監視や人権侵害を拡大する

健康保険法改定案

OTC 類似薬の患者負担増を盛り込む

防衛省設置法等一部改定案

沖縄の自衛隊の増強と宇宙の軍事利用の拡大を推進

日本共産党の田村智子委員長の記者会見

高市政権が改憲を掲げ、戦争する国づくりを進めるなか、正面から対決する野党の存在意義が問われている

志位議長と DSA (米民主的社会主義者) 指導部が会談

日本共産党の志位和夫議長ら代表団は4月29日、ニューヨーク市内で米民主的社会主義者 (DSA) 指導部と会談し、双方の協力と連帯の関係を公式に確立することを確認しました。

志位議長 ニューヨーク市長選でのゾーラン・マムダニ氏の勝利を心からお祝いします。日本とアメリカは太平洋をはさんだ隣国であり、経済、文化、歴史、人的交流など深い関係にあり、同時に、支配と従属の関係にもあります。ぜひ双方で連帯の関係を確立し、一致点で協力し、互いに学び合いたい

志位議長がNPT 再検討会議成功を議長に要請

日本共産党の志位和夫議長ら代表団は4月29日、核不拡散条約 (NPT) 再検討会議の議長と会談しました。志位氏は、全ての締約国に受け入れ可能で、かつ意義ある内容にしておくため、これまでの再検討会議で確認された、「核兵器の全面廃絶に対する核兵器国の明確な約束」などを、再確認し、具体化・履行することを要請しました。



流れるニュースに流されない

しんぶん赤旗

「しんぶん赤旗」日刊紙と日曜版 電子版
3週間無料スプリングキャンペーン中 (~5月31日まで)

ジャーナリズム賞多数受賞

しんぶん赤旗 日曜版

紙・電子版

月々
990
円

日刊
(紙・電子版)

月 3497 円



スマホで読める
電子版